

土壌汚染浄化のための調査法は法令手法とは違う

メッシュ法の場合

コンサルタント

法令通りのメッシュ法で汚染物質の分布範囲をおさえています。濃度分布も推定できていますので汚染物質量は把握できています。工期・工費もばっちりわかっていますので安心しておまかせください。

汚染物質の分布を把握

分布範囲がターゲット

法令通りの手法なら間違いなからう、じゃあお任せしよう。

社長

まずい!

汲み上げれば汲み上げるほど、調査時には計測していないような高濃度の汚染物質が上がってくる。なぜだ!?

原因] 調査時に把握できていない高濃度部から汚染物質が汲み上げ孔に移動している。

濃集部を外れている!

マニュアル通りにやっているのになぜ思い通りいかないんだろう? どう施策に言い訳しようか...

お手上げだ!

【重要なポイント】
土壌汚染防止法など法令で定められている手法は、市民の健康被害の恐れがある土壌汚染の存在を確かめる目的です。合理的な浄化をすることを目的とした調査方法ではありません。

社長

あんたを信用したためにえらい損してしまっ。銀行からも見放されたので、カネはほらえんよ。

土壌汚染浄化のポイントは「濃い〜いところ探し」

コンサルタント

EVS 探査法の場合

コンサルタント

土壌汚染浄化は、汚染物質が高濃度で密集しているところを見つけるのがポイントです。そこに大半の汚染物質がありますから。

なるほどそれぞれなら工期と工費が確実に読めるわけだ!

土壌汚染浄化プラン

EVS法

濃集部がターゲット

社長

いちばん濃いところから汲み上げているので、なかなか落ちてこないが、汚染物質の大部分をいま抜き取っている実感があるな〜。

順調!

濃集部に命中!

予定通り浄化作業は進んでいます。当初予測の工費・工期内でいけるとおもいますよ。

ご苦労さん、ありがとう。

コンサルタント

社長

ミッション完了

コンサルタント

社長

良い投資だった

この物語はフィクションです (よく似た話はあるようですが。。。)

	メッシュ法の場合	EVS探査法の場合
コンサルの提案	<p>コンサル:ここには 400 単位の汚染物質がありますので、1 日あたり 10 単位を汲み上げ処理することにより、40 日間で処理が可能です(確定論的なもの言い)。</p> <p>施主:1 単位当たり 10 万円の処理費とのことだから、4000 万円用意したらいいんだな。1 カ月半後にはこの土地は浄化ができれば 4 億円で売却することができるから、短期借り入れを銀行に頼みに行ってくるよ(上機嫌)。1 カ月半で 3 億 6000 万円の売却益があるからいい話だな。これで次の工場建設の資金の目処がついたのでゴーが出せるよ。</p>	<p>コンサル:調査結果からは 2200 単位の汚染物質がありますが、調査の信頼性からいうと最悪 5000 単位まで可能性があります。計画上は 1.5 倍の 3300 単位程度を想定しておきましょう。そうすれば最悪のケースでもなんとか計画修正程度でおさまりそうです。</p> <p>施主:なんとか安くなる方法はないんかいな(ちょっと怒って)。</p> <p>コンサル:汚染物質は、狭い範囲に高濃度で密集する性質がありますので、ボーリングによる調査でその量を正しく推定するのは困難なのです。通常調査で推定される値より大きくなります。当社は、その推定誤差を一番小さくする探査法で調査していますので、1.5 倍くらい程度の所に落ち着くはずなんです。</p> <p>施主:じゃあないな。じゃあ工期はおよそ 330 日(1 日あたり 10 単位処理)、工費は 3 億 3000 万円だな。4 億円で売却するとしても、リスクを考えると、この土地は資産として考えることはできないな。</p>
1ヶ月後	<p>施主:浄化工事の進捗はどんな具合だい?</p> <p>コンサル:あのぉ～、いいにくいんですが、浄化しても浄化しても全然薄くならないんです。むしろ汲み上げるに従って汚染物質の濃度が濃くなっていくような奇妙な現象が起こっているんです。地下で妙な化学反応が起きているかもしれない(未知の話に責任を転嫁)。</p> <p>施主:今更何いっているんだ！もうこの土地の売却益を見込んだ工場建設は始まっているんだぞ。早く浄化が終わらないと金利が高くてついでかなわないじゃないか。</p> <p>コンサル:もうじき急激に効果が出て薄くなるとお思いますので、もうしばらくお待ちください。最悪でもあと 1 ヶ月あれば浄化できると思いますので(根拠なきその場のぎ)。</p>	<p>施主:浄化工事の進捗はどんな具合だい?</p> <p>コンサル:一番濃度が濃いと推定されたところから浄化していますので、まだまだです。でも相当量が浄化されてきていますよ。それはそうと、次の工場建設の資金繰りはできましたか?</p> <p>施主:この土地の売却益がアテにならないどころか、ヘタすると赤字になってしまう可能性もあるので、しばらく計画は凍結し、別の工場の収益があがったところで再検討することにしたよ。</p> <p>コンサル:赤字までにはならないと思いますが、最悪売却益なくらいの覚悟はしておいてくださいな。</p>
6ヶ月後	<p>施主:もうすぐだもうすぐだと言って、もう 4 ヶ月も延長しているじゃないか！なんたる見込み違いだ！それでもコンサルか！</p> <p>コンサル:ここの地盤は特殊です。いままでこんな例はありませんでした(口からでまかせで所有者が悪いようなことを臭わす)。でもいまここでやめてしまったら、土地は売買できませんよ(脅しに入る)。</p> <p>施主:(怒髪天を突き)おのれが大丈夫だっていったんちゃうんか、コラ！なにひらきなおってけつかんねん！あとどれだけかかるんじゃ、ボケ！これまで新工場に 2 億円つっこんでるんじゃ、いままでなんぼかかるとるんや。</p> <p>コンサル:なんぼなんでも、売却益が吹き飛ぶようなことにはなりませんよ。いままで 1 億 6000 万円ほどかかっていますが、2 億円までにはおさまると思いますよ(根拠なきその場のぎ)。</p>	<p>施主:概ね工程の半分が過ぎたが、調子はどうだい?</p> <p>コンサル:予定通り順調に浄化が進んでいます。ある程度の誤差は生じると思いますが、予算・工程とも当初予測に近いものと思います。</p> <p>施主:ってことは、少ない側になって売却益が生まれるって事もないんやね。</p> <p>コンサル:残念ながら当初予測は大きく外れないと思います。</p> <p>施主:わかった、じゃあ事故のないよう気をつけて進めてくれ(コンサルを信頼した口調)。</p>
1年後	<p>施主:恨んでやる、おまえなんか恨んでやる(涙声)。とうとう建設中の工場もよその手に売り渡してしまったやないか。そこで 8000 万円の損がでてしもうた。もうだめだぁ～。</p> <p>コンサル:でもやっと全部浄化できました。これでこの土地はめでたく売れますよ。</p> <p>施主:なにがめでたいんじゃ、ボケ！で、結局汚染物質はほんだけあったんや?</p> <p>コンサル:3800 単位でした。段取り替えが何度かありましたので工事費 3 億 8000 万円 + 1 億円で 4 億 8000 万円になります。。</p> <p>施主:おまえを信用したばかりに、合計 1 億 6000 万円の損をだしてしもうた。銀行からも、あなたの言うことは信用できんって見放されちまった。。ガクッ。。。あっそうそう、無い袖は振れんから払わんよ。</p> <p>コンサル:ガクッ。</p>	<p>施主:どうだ、浄化は終わったか?</p> <p>コンサル:終わりました。予想より少し多かったですね。3800 単位の汚染物質がありました。やはり売却益はほとんどなくなってしまいましたね。</p> <p>施主:あんたの話を聞いていたので、もともと予定していなかったよ。予想に反して 2000 万円の売却益が出たから、まあ良しとしよう。これも産業の負の遺産ってやつだよ(余裕のコメント)。私の知り合いで、土壌汚染調査は全くアテにならないと嘆いている社長がいるが、そんなもんかい？ここではだいたい調査で予想されたとおりだったように思うが。</p> <p>コンサル:お墨付きのついた調査機関だからといって簡単に信用したところの中には、ひどい目にあっているところもあるそうですね。でもちゃんとしたツールで調査すれば、会社に大きなリスクを与えることはありませんよ(余裕のコメント)。</p>

あなたはどちらを選びますか？



EVS・MVS 日本代理店

有限会社 太田ジオリサーチ

〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台 3 丁目 1 番地

TEL 078-907-3120 FAX 078-907-3123

e-mail : office@ohta-geo.co.jp (担当 : 林義隆)

(コンサルティング・受託業務も行います)